



# 「言葉」がデータになる時代 へ

AIによる定性分析の可能性と、私たちのプロジェクト提案についてご紹介します。

**T** 作成者：Tomoo Suzuki

# 背景と転換点

## 定量分析の限界

- アンケートは5択、Google Analyticsは数値指標
- 本音や文脈は“ノイズ”扱い

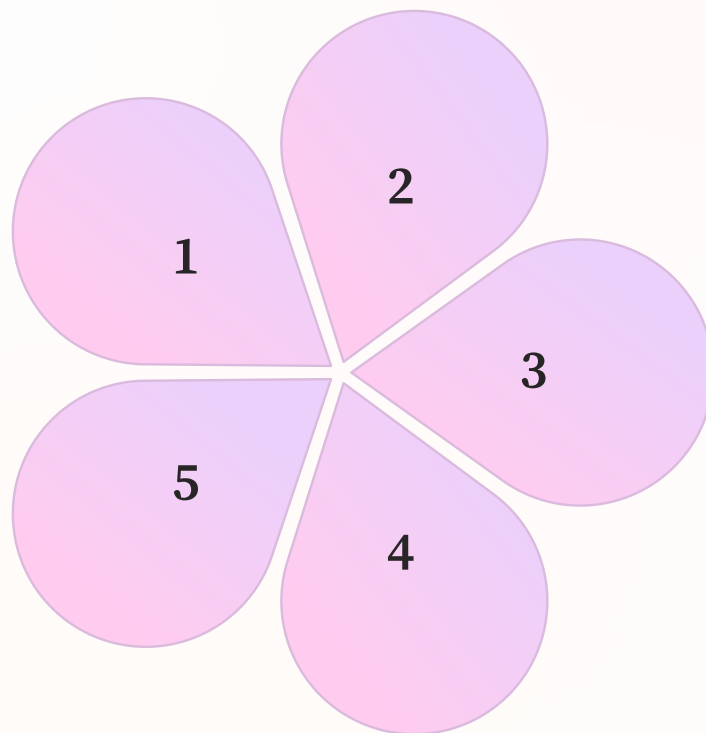
## 言葉の変化

- LLMで文脈・感情・意図の理解が可能に
- 言葉が資源となる時代へ

# 「言葉」が変える世界

データの進化  
数値＋言葉（意味・物語・感情）へ

多様性の再接続  
多声的ストーリーとして再接続



自由記述の価値  
ノイズから意味の宝庫へ

感覚の構造化  
属人的な勘から再現可能な構造へ

対話の資源化  
アーカイブ・再利用可能な資源へ

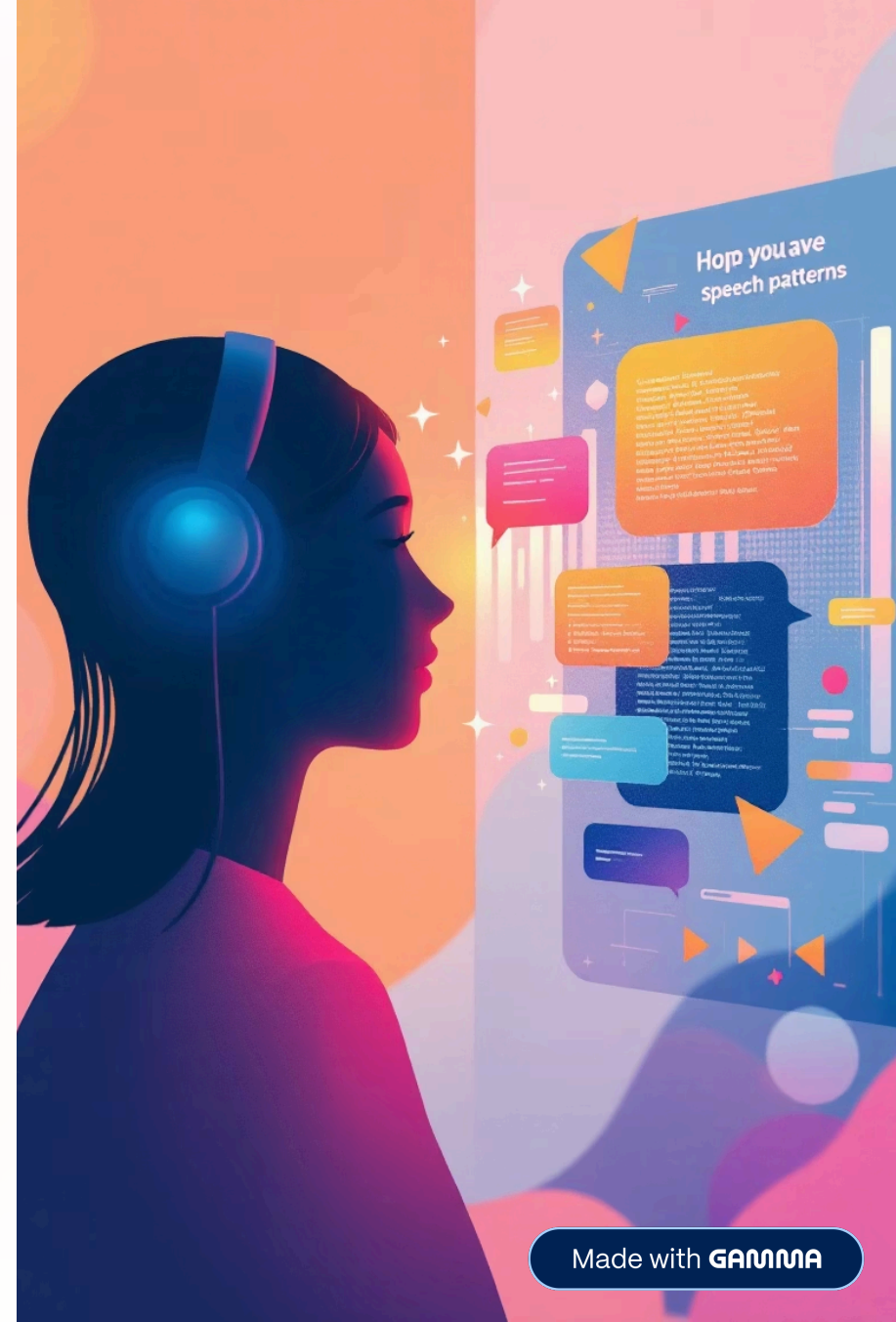
# ゲームチェンジャーとしての 「言葉」

## 従来

- 定性データは分析困難
- 感覚・参考止まり

## これから

- AIで構造化・分類・要約が可能
- 無視されていた声が行動の起点に
- 意思決定・共創の前提が変化





# 言葉の力を活かす5つのシナリオ



社内会議アシスタント  
AI

推し案



市民・顧客  
の声分析



従業員体験  
モニタリング



ユーザーイ  
ンタビュー  
構造化



# シナリオ① 社内会議アシスタントAI



1

AIがGoogle Meet参加

論点抽出・感情可視化・要点要約

2

アクションリスト自動生成

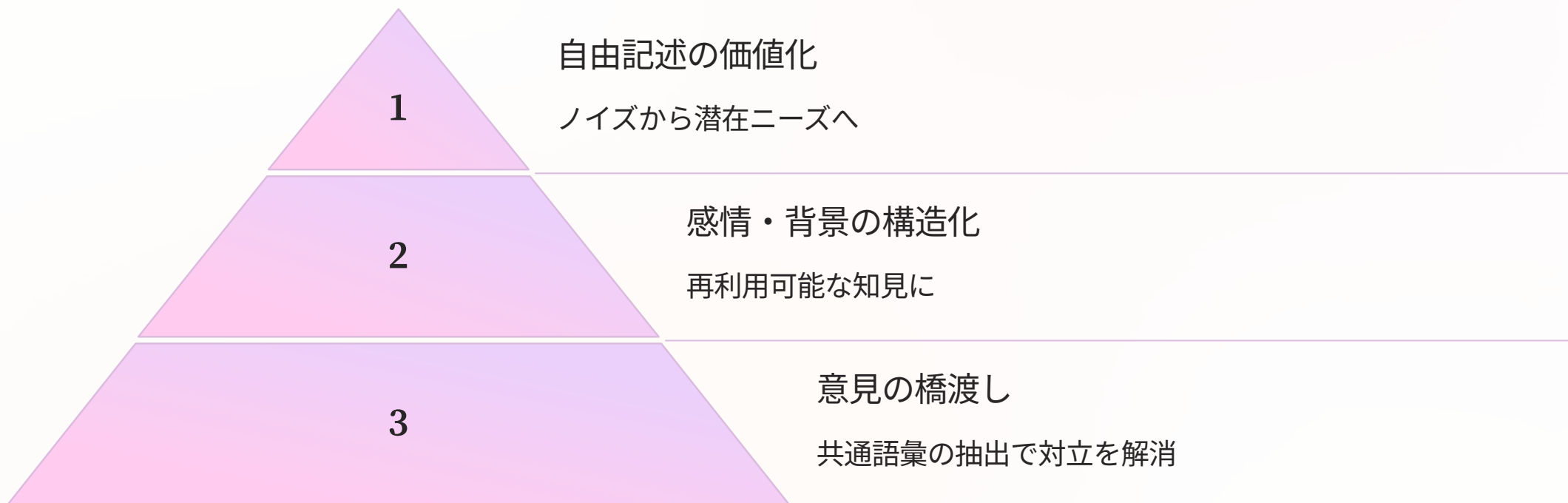
議事録不要、質・速度アップ

3

即サマリー共有

感情マップや傾向をダッシュボード化

# AIが定性分析でできること





## 導入しやすい理由（社内視点）



Google Meet活用中  
会議は既にオンライン化



知見はDiscord・XXXに  
蓄積



LLM基盤あり  
今すぐPoC可能！



# 経営者メリット

現場の声＝資産化

聞き漏らしゼロの会社へ

会議時間と質向上

育成・継承の加速

文脈保存で差別化

定性力ある組織へ



# まとめと次のステップ

言葉はデータになる

AIが理解者となる時代

PoCから開始

会議1件から始める

統合型意思決定へ

定性×定量の融合

拡張可能性

外部顧客・市民参加へ

今ここから、一緒に始めましょう。

